

次世代を担う子どもたちの“遊びながら学ぶ”体験をレゴランド・ジャパンがお届け

レゴランド・ジャパン、テーマパーク初として名古屋市と包括連携協定を締結
子どもの未来を育む教育推進、海の環境保全、名古屋市の魅力発信の3柱事業で連携・協力へ



レゴランド・ジャパン合同会社（社長：本多良行）は日本で唯一のレゴ®ブロックをモチーフとした屋外型テーマパーク『レゴランド®・ジャパン』の開業 5 周年アニバーサリーを迎える今春、名古屋市と包括連携協定を締結する運びとなり、本日 4 月 18 日（月）、名古屋市 河村たかし市長ご登壇のもと、当施設にて協定式を執り行いました。

本協定は、相互に緊密な連携・協力による活動を推進し、市民生活の幅広い分野において、市民サービスの一層の向上、地域の活性化などに取り組むことにより、相互の持続的な発展を図ることを目的としたもの。名古屋市との締結企業としては 16 社目、テーマパークとしては初となります。このたびの連携・協力の柱事業は、名古屋市総合計画 2023 に示す 5 つの都市像※を踏まえた以下の 3 つです。

■子どもの未来を育む豊かな教育活動推進に関する協力

都市像② 安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまちに関すること

趣旨：市内小学校において、各種プログラムの実施を通して子どもの未来を育む豊かな教育活動の推進に協力する。

■海の環境保全活動に関する各種協力

都市像④ 快適な都市環境と自然が調和したまちに関すること

趣旨：SDGs 達成に向けて、海の環境保全活動を主軸として、子どもを対象にした様々な取り組みを行う。

■名古屋市の魅力発信への協力

都市像⑤ 魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまちに関すること

趣旨：市内観光施設および市営施設等と連携し、レゴ ブロックやキャラクターとのコラボレーションを通して名古屋市の魅力発信に協力する。

※その他、都市像① 人権が尊重され、誰もがいきいきと過ごせるまちに関すること、都市像③ 人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまちに関すること

締結式では、レゴランド・ジャパンが取り組んでいる課題解決型の学習方法「Project Based Learning」を本多良行社長より紹介。「レゴランドらしく、遊びながら学ぶことを通じて子どもたちの成長を後押ししていきたい」と語り、河村市長も「自分でテーマを考え、子どもたちが楽しめる授業が大切。学校も積極的に協力する」とし、ともに名古屋市の教育活動推進や魅力発信について意見が交わされました。フォトセッションには野跡小学校 4 年生の生徒 31 名も参加し、笑顔いっぱいの締結式となりました。

レゴランド・ジャパンは、「いまして、家族でできないこと」をブランドメッセージに掲げ、子どもの笑顔があふれる家族の時間を提供しています。2020年より名古屋市の小学校を対象に、課題解決型の学習方法「Project Based Learning」を活用しながらレゴブロックの持つ無限の可能性を楽しく学ぶ出張型ワークショップを展開中。また、レゴランド・ジャパン・リゾート内の水族館『シーライフ名古屋』では「海洋ごみについて学び、生き物を守る」イベントの実施、そして、地域の魅力を伝えるプロジェクト「みんなで作るレゴ木製ミニフィギュア」の開催など、これまでの地域貢献への取り組みが評価され、テーマパーク初となる名古屋市との包括連携協定が実現しました。

レゴランド・ジャパンはグローバル企業として今後も、名古屋市および地域の皆さまと連携・協力しながら、レゴランドらしい“遊びながら学ぶ”体験を通じて、未来を担う子どもたちの成長を後押しし、より良い社会の実現を目指してまいります。

ー レゴランド・ジャパン×名古屋市 包括連携協定に基づく3つの柱事業について ー

■ 子どもの未来を育む豊かな教育活動推進に関する協力

＜市内小学校において、各種プログラムの実施を通して子どもの未来を育む豊かな教育活動の推進に協力＞

レゴブロックを活用したオリジナル「Project Based Learning」の出張型ワークショップやレゴランドならではのプログラミング教育の推進、小学校を対象にした職業体験プログラム等を展開。本年度は中部電力およびトヨタ自動車と協業し、レゴブロックを使って「カーボンニュートラル」と「次世代エネルギー」を楽しく学ぶ体験型の出張授業を名古屋市の小学6年生を対象に7月より実施予定。近日中に市内小学校へ参加校募集の案内を発送します。 ※応募校多数の場合は抽選にて決定



■ 海の環境保全活動に関する各種協力

＜SDGs 達成に向けて、海の環境保全活動を主軸として、子どもを対象にした様々な取り組みを実施＞

“見て、さわって、学んで”体験できる水族館『シーライフ名古屋』ではSDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」の達成に向け2021年7月、名古屋市と協働し、海の環境保全活動に関する取り組みを実施。子どもたちがSDGsを学べる施設として名古屋市内外で展開している「SDGsフィールド」への参画や啓発イベントを開催。本年度も夏休み期間中に海洋ごみに関わるテーマのワークショップ・イベント等の実施を通してSDGsの目標達成に向けた協力を行います。



■ 名古屋市の魅力発信への協力

＜市内観光施設および市営施設等と連携し、レゴブロックやキャラクターとのコラボを通して名古屋市の魅力発信に協力＞

開業5周年アニバーサリー事業の一環として、地域の子どもたちや市営施設、観光協会、「なごやめし20選」など総勢約80名/社と一緒に、東海地方の観光名所やグルメ、子どもたちの大好きなことなど、レゴ木製フィギュアにブロックや絵の具で自由にデザイン装飾し、地域の魅力を発信していただくプロジェクト「みんなで作るレゴ木製ミニフィギュア」を5月9日（月）まで開催中。第2弾は抽選で選ばれた年間パスポートを持つレゴランドファンによる約100フィギュアを5月12日（木）より6月下旬までビッグ・ショップ内に展示。今後は、名古屋市のマスコットキャラクターとレゴランドのキャラクターとのコラボ商品の開発も検討していきます。 ※協賛：中日新聞社

